

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	58	—	事業名	平成こども塾事業	担当部課	建設部 みどりの推進課
------	----	---	-----	----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	7	農のある暮らし、農のあるまちを支える		
		施策の進め方	5	自然環境体験活動の推進		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・学習活動を通じた、地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を主体とする小中学生とその保護者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。				
	事業を構成する事務事業	① 平成こども塾企画事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	3,539
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	20,566
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	24,105

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	子どもの満足度	%	目標	85	85	85	85
実績				97	97	98	98	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A おおむね参加者の満足が得られること(満足度85%)								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動並びに子どもを主体として食と農に関する取組を実践することについては例を聞かない。全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 十分に達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 指導者が高齢化しつつあるため、その世代交代を円滑に行いたい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今までどおり、地域の環境や福祉についての学習活動を地域住民とともに推進していきたい。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	平成こども塾事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	平成こども塾企画事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) ・市民を主体とする小中学生とその保護者が対象。 ・環境団体、地域で活動する団体(サポート隊)や専門家の指導の下、様々な体験活動を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子どもたちの感性や、生きる力、世代を超えたコミュニケーション能力を育んでもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	3,484	3,484	3,575	3,635
		決算	3,429	3,509	3,484	3,539

3. 活動推移

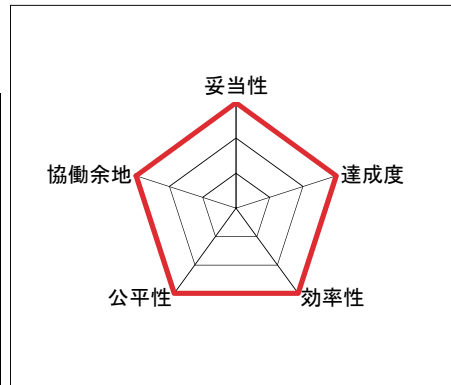
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
子どもの満足度	%	目標	85	85	85	85	
		実績	97	97	98	98	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今まで通り継続する

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
事業は安定しており、そのまま継続することが望ましい。しかし、指導者の高齢化が徐々に進んでおり、指導者の世代交代をスムーズに行っていきたい。